



月影の
至らぬ里は
なけれども
眺むる人の
心にぞすむ

法然上人へつきかげ

冬野 観音寺 だより

通巻71号
R5彼岸

発行所
〒640-0332
和歌山市冬野1700

**兩部山
観音寺中**

Tel 073-479-2634
発行責任者 樽本充典



安原にも「西国三十三所観音霊場」が！

下の写真のようにお寺の北側の山の斜面に西国の33番のミニ霊場が造られています。1番から33番まで一体一体丁寧に各ご本尊の容姿を写して彫られた石仏です。番号順に並んでいます。

コースはよく分かっていまいせんが、一日ではとても回りきれないと思います。ところが十七番の大井寺には境内の山肌にミニチュア版の西国三十三所観音霊場が造られています。



本渡大井寺境内の石仏の三十三観音霊場 K.picture/r5.1.4 投稿写真

皆様方の菩提寺、冬野観音寺が位置する裏山には全域で現在七つのお寺が点在しています。その内の三カ寺が当山からすると東南の方向に位置する本渡の東地区にあり、その一つが黄檗宗大井寺です。大井寺のご本尊は十一面観世音菩薩で、「近郷(路)三十三所巡拝」という「西国三十三所観音霊場」の地方版の第十七番です。ちなみに当観音寺は第十六番で、聖観世音菩薩をお祀りしています。江戸時代の後期、西暦で言いま

すと一八〇〇年前後に西国観音霊場の地域版が各地で作られます。「近郷(路)三十三所巡拝」は、海南の藤白神社内の中道寺の観音様を一番に亀川から別院経由で山東、安原を経て毛見へ。さらに塩津から大崎経由で下津へ。加茂郷、仁義を経て東畑から最終三十三番別所の願成寺へ、現在は国の重要文化財の指定を受けている千眼千手の観音様に至る巡拝コースが設定されていました。当時の

コースはよく分かっていまいせんが、一日ではとても回りきれないと思います。ところが十七番の大井寺には境内の山肌にミニチュア版の西国三十三所観音霊場が造られています。光が今もともされ続けています。

「彼岸会」―三十三の石仏と生花―

す。石仏一体一体の尊顔を拝して十念をお称えしても一時間もあれば結願できます。彼岸やお盆には地元の方がみんなでお掃除をしてお花とお線香供えて下さるのだからです。江戸時代の人々の信心の

今のそのまま *彼岸⇨西方極楽世界

彼岸に往生の「本願念仏」

なぜ『阿弥陀経』を読むのか

『阿弥陀経』を読む機会の多い冬野観音寺の檀信徒の皆さん。住職よりスラスラ称える方もおられて法事の場に程よい緊張感が漂い、住職も阿弥陀様、ご先祖の位牌に向かつて心から読経の声を届けることが出来ます。その『阿弥陀経』の中程に皆さんよくご存じの「執持名号、若一日・・・若七日・・・」の箇所があります。以下に意訳してみます。

「もし七日間も極楽往生を願って口にナムアマミダブツと念仏を称え続ければその声が阿弥陀様の耳に届いたときからずっーと私達を見護つて下さり、この世を旅立つ時には必ず迎えに来て下さって四十九日を経なくてもすぐに西方極楽浄土の蓮華の台に生まれ変わらせて下さるんだよ」とお釈迦様は説かれます。

さらに弟子の舍利弗（しゃりぼつ）に向かって、「わたくし釈迦は、極楽往生を願って念仏を唱えれば必ず迎えて下さるといふ不可思議な阿弥陀仏の

ご利益を實際にこの目で見てきましたよ。

それでこうして説法しているのです。心にこのお話を受け止めて下さる方がおられるならば、是非とも来世は阿弥陀様の西方極楽浄土に往生したいという願いを起こし念仏を唱え極楽世界に往生を遂げて欲しい」と勧められます。

要するに「この世にいる時には是非とも極楽往生を願って念仏を唱え、臨終の時が来れば極楽往生してください」というのが『阿弥陀経』の本題です。ですから『阿弥陀経』は念仏を唱える事がどんなに大切であるかを教えてくれていますので、読経の後に実際に念仏を唱えないと意味が全く無くなります。

浄土宗のお勤めで言えば、メインはあくまで「光明遍照・・・」の次の「念仏一会」です。「念仏一会」とは時間の許す限り「ナムアマミダブ、ナムアマミダブ・・・」と唱え続けます。ところが法事の席で『阿弥陀経』は一生懸命唱えられるけれど、法要のメインである「念仏一会」になると背中に聞こえる声之急に小さくなるのがよ

くあります。「ああ住職の説明が悪いや」と反省しています。

「本願念仏」とは

まだあります。ただ唱えるだけでは駄目で「西方極楽浄土に往生したいという願いを起こして念仏を唱えて往生せよ」と、お釈迦様は説かれておられましたね。

阿弥陀様はまだ菩薩だった時、この世で悟りを開けず成仏できないで苦しむ全ての人が成仏できる西方極楽世界を築くこうと四十八の「願」を建てて修業を続けられました。全ての「願」を成就して阿弥陀如来と成られ、同時に西方極楽浄土が出来上がったのです。

左の囲みは、この四十八願の中の第十八番目の「願」です。法然上人が念仏往生のための「本願」と名付けられ、阿弥陀様が私達を

「本願念仏」を行じる

・・・天に仰ぎ地に伏して悦ぶべし、このたび弥陀の本願にあう事を。行住坐臥にも報ずべし、かの仏の恩徳を。頼みても頼むべきは乃至十念の詞。信じても猶ほ信ずべきは、必得往生の文なり。

法然上人がお弟子さんに宛てた『一紙小消息』と呼ばれている手紙の一文です。浄土宗のお経本には必ず載っています。全文をお読み下されば、法然上人が阿弥陀様の「本願」に出会われた時、如何に感涙されたかが伝わって来ます。

来る日も来る日も比叡山は黒谷の庵で厳しい修行を続けながら「我ら煩惱まみれの人間が救われる教え」はないものかと探し続けて二十五年。やっと出会えた阿弥陀様の「本願」。「これで救われる！」

「本願」を意識して念仏を唱え続ければ、阿弥陀様のお迎えに感涙できる日が必ず訪れます。合掌

『無量壽経』四十八願の第十八願
もし私が成仏した時に、あらゆる生きとし生けるものが心から私の西方極楽浄土に生まれたいと願って、十遍のお念仏を唱えてもし往生出来ないようなら、私は成仏することはありません。但し仏教の教えを非難する人は除きます。

迎え損ってくださるといふ「本願」を信じて唱える「念仏」すなわち

江戸時代の観音寺 (その4) ー石垣と石段の上の建物の変遷ー

文化八(一八一二)年から九年にかけて刊行された『紀伊國名所図会』に紹介された観音寺。約二百年前の観音寺境内のたまたまがそのまま残っている部分と変化している部分があります。どういう経緯で変化したのか分かる範囲で書き留めていきます。四回目の今回は階段から境内に上がったあたり、石垣の上の建物等について見ていきます。皆様のお寺の歴史です。お寺護持のため次の世代にお伝え下さい。

門の絵と写真を見比べると！

絵には向って右から三つの建物が描かれています。境内に通じる表階段の上には四脚門が見えますが、現在は直径28.5cm、地上高258cmの岡山の北木産の御影石の門柱が二本建っています。境内側から見て左の石柱には



南の方向より2023年3月現在

施主大橋 淡、左側には明治四十二年十一月廿日燈譽代と刻されています。大橋家は観音寺の江戸時代以前からの大檀那家です。大橋淡さんは、当時大陸の玄関口であった九州門司の商工会議所の会頭を務められたこともある方でした。明治四十二年十一月

廿日、山口県下関の長府で他界されておられます。享年六十二歳。そうしますと門柱の年号は建てられた日付ではなさそうです。さらに当山は明治三十七年九月十二日から住職が燈譽上人から第十七世の薫誉上人に代替わりして、現在の常識なら「薫誉代」なのに、「燈譽代」と刻されているのにも当時の事情がありそうです。お身内の方のお話では、大橋家は淡さんの息子の秀一さんの代に鎌倉へ転宅され、冬野を引き払うに当たって、お寺への供養として台風で壊れて以来無くなっていた門を形だけでも復興したいと考えて門柱を建てられたそうです。

庫裏側の裏門？

庫裏に通じる階段を上った所の絵には、土塀に囲まれて建物が描かれています。おそらく裏門でしょう。裏門があったと言う話は

聞いていませんし、記憶が残っている昭和32〜33年頃には既に門も周囲の土塀の多くも無かったように思います。ただ、階段の突き当たりには土塀がありました。

石垣の上の建物？

石垣の上の土塀が今のブロック塀にやり替えられたのは小学三年の頃で昭和三十六年の第二室戸台風で塀の一部が壊れたからだったと記憶しています。あれから六十年あまり。見かけは良いとは言えませんが、地震も豪雨もあつたなか石垣の上のブロック塀は目立った損傷もなく現在に至っています。

絵では石垣の上の middle に建物が見えますが、現在の写真では植木が見えるだけです。平成二十二年の鐘樓の修築工事の時の『観音寺だより』でもお伝えしましたが、この絵の建物がもとの「鐘樓」です。言い伝えに因れば台風で建物が壊され、現在の場所に鐘樓を新築し、つり鐘を遷したそうです。絵より右側の南西の角に鐘樓が建っていた証拠があります。それは鐘の共鳴用のカメです。今も埋もれたままです。(続く)

R5法然上人25霊場参拝

4月20日(木)浄土宗総本山知恩院 ☺ 参加者募集中 ☺



◆今回は、第25番知恩院のみの参拝です。30人でなかなか団体では行けませんでしたが、今回知恩院の「御忌大会」という大法要のお逮夜導師たいやどうしに広原廣原寺の老僧ひろはらこうげんじが選ばれたことがご縁で、「廣原寺御忌大会参拝団」として知恩院参拝と大殿での法話と法要に参列出来ることになりました。参拝はピカピカになった大殿とその周辺のみになりますが、滅多にお参りできない知恩院の御忌法要。さらに冬野の隣の廣原寺のご老僧が導師をお勤めに成られますので、こんな有り難い機会はそうそうございません。是非ご参加下さい。合掌

行程予定	8:30	11:20~12:00	13:00~	14:00~16:30	18:50
	冬野精米前	知恩院で昼食	法話他	法要	冬野着

【日時・行程】

- ◎日 時：平令和5年4月20日（木） ◎集合時間：午前8時20分
- ◎集合場所：無人精米機前他 ◎出 発：午前8時30分
- ◎参加費：お一人3000円(保険料と導師お祝い等)
- ◎今回は、バス代・昼食代・拝観・見学料は廣原寺参拝団会計になります。
- ◎締切り日：3月27日（厳守）
- ◎申込先・申込方法：直接観音寺へ。申込書に参加費を添えてお申込みください
- ◎集印帳・朱印軸は一括で先送りしますので、申し込み時に観音寺へお持ちください。
- ◎当日の持ち物：数珠と袈裟（ある方）とお賽銭
- ◎問い合わせ先：479-2634（観音寺） ◎当日の携帯電話：090-9628-3688

..... 切り取り線

R5年法然上人25霊場 バスツアー申込書		令和5年 月 日 申し込みます	領収書 様
フリガナ 氏名	誕生日 年 月 日	集印軸 印帳	一金 円 25霊場団参代金として 令和5年 月 日 和歌山市冬野1700 観音寺
フリガナ 氏名	誕生日 年 月 日	集印軸 印帳	

「蓮の華」通信

文：坊守

て、帰ってこなくて良
いと思っているのは私
だけでは無いはず。

今年も沢山の方々の祈願を受
け、無事に初午会を終えることが
出来ました。三年続けてもち投げ
が出来ず淋しい限りです。初春の
柔らかな陽射しの中、あの賑わい
が戻って来るのはいつの事でしょう
ね。 初午会を終えると少しずつ
心地良い季候になり春が待ち遠し
いです。今、世の中は混沌とした状
況です。コロナは下火になったもの
の殺人や詐欺が横行。トルコ大地
震で多くの方々が亡くなったり、
未だにロシアのウクライナ侵攻も続
いています。プーチン大統領の本来
ウクライナはロシアの一部で、この
考えに刃向かう者は全て破壊し、
侵略を正当化する言動は、益々ウ
クライナの人達に民族主義を覚醒
させ戦争終結の兆しは見えませ
ん。プーチン大統領が核のボタンを
押して事の終結を計ろうとする最
悪のシナリオにならないよう祈
りばかりです。

今、正体不明の気球が話題にな
っていますが、誰かこの悪の権現プー
チン大統領を気球に乗せて空高く
放つてくれまいかと思いません。そし

気球で私は二十年前の事を思い
出します。お寺の木の根元で不審
な飛来物を発見。真っ赤な布のよ
うな紙のような物でした。丁度そ
の頃、同じように北朝鮮が意味不
明の真っ赤な小型のパラシュート
いくつも飛ばし、日本全国で発見
されていました。

「北朝鮮からの物に違いない」と



私の心臓が高鳴りしていました。
爆発物は無いかとそっと見てみま
した。直径五十センチ程の空気の
抜けかけた赤い風船には、ハンゲル
語ではなく日本語で「揖保川町立
河内幼稚園」と名前が書かれ、「自
然に分解され土に戻る素材ででき
ています」との但し書きがされてい
ました。風船の先には花の種が着
けてあり、地上に落ちてこそそこ
芽吹き花が咲くようにとの願いが
込められていました。

早々に和歌山まで届いた事をお
知らせしました。園児十五名の小
さな幼稚園で五十周年の式典で五
十個の風船を飛ばした内の一個だ
つたのです。十五日かけて約百キロ
の長旅をした風船のことが当時の
神戸新聞に掲載されました。

こうして園児達との忘れられな
い暖かな交流を経験できました。
同じ飛来物でも軍事目的であろう
気球とは大違いです。種の袋は破
れてしまいましたが、きつとどこか
で芽吹いたことでしょう。

皆さんのなかには目にされた方
もおられるでしょう。どこまでも広
がりスリーンいっぱいに咲き乱れる
向日葵畑。イタリア映画『ひまわ
り』のシーンです。あのロケ地がウ
クライナだったそうです。今と同じ
戦時下のストーリーですが、あの
向日葵の下には多くの兵士が眠っ
ています。今もまたウクライナでは
砲火やがれきの下に多くの兵士と
一般市民がストーリーではなく現
実に眠っています。これ以上、人々
が眠らずに済むよう一日も早く戦
争の終結を望みます。

現実に平和が戻ってウクライナ
の大地に美しく咲き誇る向日葵の
花が見たいです。向日葵の花は今口

シアの軍事侵攻に対する抵抗の象
徴に成っています。

世界中の人々が「世界平和」を
願っているのに戦争が止まらないの
は「大人の都合」の勝手さのせい
でしょうか。子供達にはどう説明で
きましようか。そして、今私達は
何が出来るでしょうか。 合掌

投稿募集!

『観音寺だより』へ檀信徒の皆様からの投稿を募集
しています。仏事の相談、質問、
ご意見、日頃の思いや悩み、短歌、
俳句、川柳、写真、旅の雑文など
(1200字以内) お寄せください
。投稿方法は、おハガキ、お手
紙、原稿用紙、あるいはパソコン
のメール (tarukannon@eto.
onet.ne.jp) でもかまいません。
郵送先は

〒691-0331和歌山市冬野1700
観音寺宛でお願いします。『観音
寺だより』 合掌

編集後記

『観音寺だより』は世の流れの無常を改めて思い
知る機会でした。また、この三年
で学んで仕上げようと思っていたこ
とがすべて出来ませんでした。知
らず強欲にはまっていたと遅きの
反省です。出来ることを見極める
ことは口で言うほど簡単では無い
と言うことです。今後は絶えず立
ち止まって少欲を心掛けます。

《R5彼岸日程予定》

法要は仏教の実践です。貴方の祈りの声が阿弥陀様に届くにはどうすれば良いか？ 法要で学びます。

〈法要等日程〉

お問い合わせ TEL:073-479-2634

3月18日(土)	夜7:30~入り法要(参詣自由/要コロナ対策) 参詣者の塔婆廻向・帳面廻向
19日(日)	彼岸塔婆廻向
20日(月)	彼岸帳面廻向
21日(火)	昼1:30~中日法要(参詣自由/要コロナ対策) 塔婆本廻向・参詣者の帳面廻向
22-23日(水・木)	彼岸帳面廻向◎23日夜6:00~別時念仏会
24日(金)	朝9:30~ 結願法要(寺のみ) (中日以降受け分けの塔婆廻向他)

【お願い】「彼岸会」はご先祖を供養し、揺れ動く心を定める場です。以下お読み下さい！

- ◆彼岸供養(帳面回向、塔婆回向)の受付済まされましたか。まだの方は今からでも間に合います。お電話でも受け付けております。速やかにお申し込み下さい。
お寺では、檀信徒過去帳記載の50回忌を迎えておられない各家の精霊全てを、彼岸中にもれなく供養します。だから忘れないでお申し込みください。各家のご先祖の供養のために「彼岸会」が勤まると言っても過言ではありません。僧俗共に功德を積み慈悲の心を養います。お寺から檀信徒のご先祖の供養を除いたらお寺の役目はなくなってしまいます。
- ◆みなさんもお家の仏壇のお花を新しくし、御膳を供え、さらにお墓の花を新しくして、締めにお寺の法要で念仏を唱え自身の往生とご先祖の成仏を願われます。これらの念仏行を通じて揺れ動く心が定まって、阿弥陀様の慈悲をいただけるようになります。そうすると、ご自身の極楽往生の功德が積まれ、ご先祖も私たちも共に「ご利益」をいただくことができるのです。
- ◆檀信徒の皆様！僅かな時間です。本尊前でお念仏を唱え、共に安心をいただきましょう。

※3月23日(木)夜6:00~7:30:法然上人聖日月別時念仏会 ☆浄土のみ教え念仏のみ。参加自由/要コロナ対策

「聖日」とは宗祖法然上人の月のご命日のこと。毎月25日です。春秋の彼岸がある月は、彼岸の「行」を兼ねて彼岸内に勤めています。「別時念仏会」とは、日時を特別に設けて念仏を一心に称える練習をする会です。日々の怠慢にさようなら。念仏の唱え方と信心をいただき、阿弥陀様に届くお念仏の練習会です。

4-6月行事予定

◎聖日別時念仏会予定

4月24日(月)夜6時半~

5月24日(水)夜6時半~

6月24日(土)夜6時半~

※5月14日(日)午後1時半~

「花祭り」法要:お釈迦様の生誕祭

「永代祠堂」法要:永代祠堂のご先祖供養

◎御詠歌はお経、お念仏とちがって練習して奉納ということになります。練習が再開されないとご詠歌を入れた法要は出来ません。ご要望があれば練習を再開します。